

関 係 各 位

公益財団法人鳥取県建設技術センター代表理事
(公 印 省 略)

「建築工事の安全管理」等建設技術研修の受講申込について（通知）

当センターの研修業務につきましては、日頃、格別のご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

このことについて、下記1のとおり受講申込受付を令和3年6月9日（水）から開始します。受講を希望される方は、当センターのホームページからお申込みください。

現在、鳥取県内に「新型コロナ警戒事態宣言」が発令されているほか、隣接する岡山県、広島県、兵庫県には緊急事態宣言が発令され、厳重な感染対策が求められていることから、当面の間、センターでの受講は中止し、会社等での Web セミナー方式に限定して受講申込を受付します。御社にご負担・ご迷惑をおかけしますが、ご協力をいただきますようお願いいたします。

なお、このほかの研修については、別紙1「令和3年度研修計画一覧表」のとおり計画しており、準備が整い次第、順次当センターのホームページに掲載するとともに、メールでお知らせします。

記

1 受講申込受付を開始する研修

| 研修名 | 対象者 | 開催日時 | 受講料 | 定員 |
|---------------------|----------|--------------------------------|--------|-----------|
| 建築工事の安全管理 | 初級 中級 | 7月13日（火） 10：00～16：00 | 5,000円 | 会社 80人 |
| 【新規】建築工事の積算演習 | 初級 中級 | 7月28日（水） 13：00～16：00 | 3,300円 | 会社 30人 |
| 人権に関する講習会 | 全員 | 8月2日（月）、4日（水） 13：30～16：00 | 3,300円 | 会社 90人×2回 |
| 【新規】現場技術者のための安全衛生管理 | 初級 中級 | 8月19日（木）、27日（金） 13：00～16：00 | 3,300円 | 会社 80人×2回 |
| 斜面災害の発生原因と対策 | 中級 上級 | 8月25日（水） 10：00～16：00 | 5,000円 | 会社 100人 |
| 道路構造物の維持管理 | 中級 上級 | 8月31日（火） 10：00～16：00 | 5,000円 | 会社 90人 |
| 建築工事の品質管理 | 中級 上級 | 9月7日（火） 10：00～16：00 | 5,000円 | 会社 50人 |

※研修の詳細は別紙2「受講申込受付を開始する研修一覧表」をご覧ください。

※新型コロナウイルス感染症予防のため、会社での受講に限定させていただきます。

(参考) 受講対象者の目安

| 対象者 | 経験年数 (目安) |
|-----|-------------|
| 新 人 | 5 年未満 |
| 初 級 | 5 ～ 1 0 年 |
| 中 級 | 1 0 ～ 2 0 年 |
| 上 級 | 2 0 年以上 |

2 受講申込について

- (1) ホームページの「研修受講申込エントリー」ページに、「会社で受講」の申込口を設けていますので、クリックして申込手続きを進めてください。
- (2) 受付完了後、当センターから「受付確認メール」を送信します。
- (3) ホームページからの申し込みには「ログインID」及び「パスワード」が必要です。
分からない場合は総務研修課までお問い合わせください。
- (4) 受講申込は、研修開催の7営業日前までホームページで受け付けします。
- (5) 「研修受講申込エントリー」URL <https://www.tctcplaza.or.jp/front/seminars/index>

3 受付開始日時 令和3年6月9日(水) 10時～

4 Webセミナー方式について

研修はWebセミナー方式とし、会社で受講していただきます。
詳細は別紙3「Webセミナー方式の研修について」をご覧ください。

5 受講料の引落について

- (1) 建設業、コンサルタントの職員の場合
研修開催日の3営業日前に事前登録いただいた口座から受講料を引落しさせていただきます。
- (2) 県、市町村、公社・事業団等の職員の場合
研修終了後、請求書を送付しますので振込みをお願いします。
- (3) キャンセル期限を研修開催日の7営業日前までとし、それまでにキャンセル手続きが行われていない場合、登録いただいた口座から受講料を引落しさせていただきます。

6 その他

県内感染拡大等の情勢変化に対応して、急遽研修の延期や中止を決定する場合があります。
その場合は、ホームページに掲載するとともに、申込者へはメールでお知らせします。

| |
|---|
| 担当者 総務研修課 前田、藤井 電 話：0858-26-6065 ファクシミリ：0858-26-6052 Eメール：fujii-n@tctcplaza.or.jp |
|---|

| 番号 | 研修名 | 開催日 | 時間 | 加 点 研 修 | CPDS 研 修 | 建設コン サルCPD | 建設士会 CPD | 対象者 | 目的 | 研修科目及び主な内容 | 受講料 (円) | 計画 人員 (人) |
|----|----------------------|-----------------|---|------------------|----------------|---------------|-------------|------|---|--|------------|-----------------|
| 1 | ゼロから始める現場管理 | 4月15日 | 10:00 ～16:00 (5時間) | 技術 | ○ | ○ | ○ | 新人 | 建設業界の面白さや技術者が成長していくためのコツを解説し、新人技術者が現場で生き生きと活躍するための一助とする。 | ・現場の仕組みと仕事の流れ ・新人技術者の悩み ・新人技術者がまずやるべきこと ・建設業界の面白さ | 5,000 | 50 |
| 2 | 新人技術者のためのビジネスマナー | 4月16日 | 10:00 ～16:00 (5時間) | 人権 | ○ | ○ | ○ | 新人 | ビジネスマナーの習得を通して、職場内外のコミュニケーションスキルを磨き、仕事で必要な接遇および、報相連における優先順位をつかむ | ・組織の一員として働くことの意味 ・社会人としてのビジネスマナー ・報連相について ・指示の受け方、伝え方 など | 5,000 | 50 |
| 3 | 新人技術者のための施工技術基礎 | 4月22日 | 10:00 ～16:00 (5時間) | 技術 | ○ | ○ | ○ | 新人 | 建設工事の代表的な工種である土工及びコンクリート工の施工上の留意点などを学び、新人技術者に必要となる基礎知識を学ぶ。 | ・様々な建設現場の紹介 ・若手技術社員の役割 ・土工の基本事項 ・コンクリート工事の基本事項 | 5,000 | 40 |
| 4 | 丁張り実習 | 4月27日 | 10:00 ～16:00 (5時間) | 技術 | ○ | ○ | ○ | 新人 | 公共工事の流れや丁張りについて、講義と実習を行い、建築工事や土木工事の現場で必要となる基礎知識を習得する。 | ・公共工事の流れ ・丁張りの基本事項 ・丁張り実習 | 5,000 | 20 |
| 5 | 新人技術者のための公共工事基礎(2日間) | 5月12日 ～5月13日 | 10:00 ～16:00 (10時間) | 技術 | ○ | ○ | ○ | 新人 | 公共工事の仕組みや建設業法、施工管理等に関する基礎知識に加え建設業の魅力や今後の方向性についても解説し、新人技術者が現場で生き生きと活躍するための一助とする。 | ・新人技術者に伝えたいこと ・建設業の未来～変わる、変える～ ・公共工事のしくみ ・現場監督のしごと(施工管理等) ・関係法令について | 10,000 | 50 |
| 6 | 土質の基礎(2日間) | 5月20日 ～5月21日 | 10:00 ～16:00 (10時間) | 技術 | ○ | ○ | ○ | 新人初級 | 土の基本的な性質、調査・試験方法、土の圧密・強さなど、新人技術者に必要となる土質力学の基礎を学ぶ。 | ・土の分類と性質・地盤の強度 ・軟弱地盤の挙動(液状化・圧密・支持力) ・法面の力学(切土、盛土)、土留(土圧) | 10,000 | 70 |
| 7 | メンタルヘルス | 5月18日 5月26日 | 13:00 ～16:00 (3時間) | 人権 | ○ | ○ | ○ | 全員 | イキイキとやりがいをもって働くため、メンタルヘルスについて理解し、心身ともに良好な職場づくりにつなげる。 | ・メンタルヘルスに関する基礎知識 ・うつ病のこと ・睡眠の大切さ ・ストレスへの対処法 | 3,300 | 160 |
| 8 | 現場で役立つ水理学 | 6月3日 | 10:00 ～16:00 (5時間) | 技術 | ○ | ○ | ○ | 新人 | 水理学の基礎を学び、新人技術者として必要な知識・技術を身につける。 | ・水理学の基礎 ・水の性質及び次元・静水圧、水の運動 ・開水路、管水路 | 5,000 | 40 |
| 9 | 激甚化する豪雨災害への対応 | 6月8日 | 10:00 ～16:00 (5時間) | 技術 | ○ | ○ | ○ | 初級中級 | 豪雨災害の特徴や、平成30年7月豪雨等の事例を紹介し、近年激甚化している豪雨災害に対応できる技術者の育成を目指す。 | ・豪雨災害の現状 ・降雨のメカニズムと豪雨災害の特徴 ・災害事例事例 ・復旧工法、新技術の紹介 | 5,000 | 100 |
| 10 | やさしい構造力学(2日間) | 6月10日 ～6月11日 | 10:00 ～16:00 (10時間) | 技術 | ○ | ○ | ○ | 新人初級 | 擁壁等の構造物の設計の考え方や施工上必要となる基礎的な構造計算の方法など、新人技術者に必要となる構造力学の基礎を学ぶ。 | ・基礎理論の概説(用語の習得) ・土木設計実務と構造力学との関係 ・断面計算、応力計算 | 10,000 | 70 |
| 11 | コミュニケーション | 6月15日 | 9:30 ～12:00 13:30 ～16:00 (各2.5時間) | 人権 | ○ | ○ | ○ | 中級上級 | 上司・先輩としての役割を理解するとともに、部下・後輩とのコミュニケーションの手法を学び、風通しの良い職場づくりに繋げる。 | 【部下・後輩とのコミュニケーション】 ・上司・先輩に求められること ・部下との常識や価値観の違い ・褒め方・叱り方 ・部下・後輩とのコミュニケーション手法 | 3,300 | 160 |
| 12 | 現場管理スキルアップ | 6月23日 | 10:00 ～16:00 (5時間) | 技術 | ○ | ○ | ○ | 初級中級 | 工程管理・品質管理・安全管理・環境管理・原価管理といった現場のマネジメントの必要性や、現場代理人等に求められるスキルについてを学び、円滑な現場管理につなげる。 | ・監理技術者・現場代理人に必要なスキル ・現場を把握するためのスキル | 5,000 | 100 |
| 13 | 【新規】トラブル事例から学ぶ擁壁設計 | 6月30日 | 10:00 ～16:00 (5時間) | 技術 | ○ | ○ | ○ | 中級上級 | 講師が現場で経験してきた擁壁設計に関するトラブル事例を題材に、設計時の留意点や技術者としての心構えを学ぶ。 | 【建設コンサルタント向けの研修です。】 ・技術者としての心構え ・調査設計時の留意点や着眼点 | 5,000 | 80 |
| 14 | 事例から学ぶ現場の安全管理 | 7月2日 7月7日 | 10:00 ～16:00 (5時間) | 技術 | ○ | ○ | ○ | 初級中級 | 建設工事における事故事例や、企業や現場での効果的な取組みから安全管理に関する理解を深め、建設現場での労働災害の減少につなげる。 | ・労働災害の現状 ・労働災害統計の考察 ・転倒リスクとヒヤリ・ハット ・リスクアセスメントの手法 ・災害事例 | 5,000 | 200 |
| 15 | 建築工事の安全管理 | 7月13日 | 10:00 ～16:00 (5時間) | 技術 | ○ | ○ | ○ | 初級中級 | 建築工事における安全対策に関する基本的な知識を修得し、建築現場での労働災害の減少につなげる。 | ・建設業における労働災害発生状況 ・建設業における労働災害防止上の課題 ・労働災害発生のおそれと発生時の対応 ・労働災害と企業の責任 等 | 5,000 | 80 |
| 16 | 軟弱地盤対策 | 7月16日 | 10:00 ～16:00 (5時間) | 技術 | ○ | ○ | ○ | 中級上級 | 施工時に必要となる軟弱地盤の特性や軟弱地盤対策工法の理論・メカニズムを理解し、技術力の向上につなげる。 | ・軟弱地盤の調査 ・軟弱地盤対策工法事例 ・施工上の留意点、安全対策 ・軟弱地盤・液状化対策の最新動向・新技術 | 5,000 | 80 |
| 17 | 土木施工管理(共通編) | 7月27日 | 10:00 ～16:00 (5時間) | 技術 | ○ | ○ | ○ | 初級中級 | 土木施工管理に関する基礎的な知識や工事検査のポイントや留意点について学び、適切な施工管理を行うための技術や知識を身につける。 | ・工程管理、品質管理、安全管理、環境管理 ・工事検査のポイント、工事検査の指摘事項 | 5,000 | 80 |
| 18 | 【新規】建築工事の積算演習 | 7月28日 | 13:00 ～16:00 (3時間) | 技術 | ○ | ○ | ○ | 初級中級 | 建築数量積算基準の解説及び積算演習を通じて、積算実務について理解を深める。 | 建築数量積算基準の解説 計測・計算の演習及び内訳書の作成 内外装、土工、地盤、躯体(鉄筋コンクリート造) | 3,300 | 30 |
| 19 | 人権に関する講習会 | 8月2日 8月4日 | 13:30 ～16:00 (2.5時間) | 人権 | ○ | ○ | ○ | 全員 | 人権尊重のための知識を学び、差別がなく、働きやすい職場づくりにつなげる。 | ・新型コロナウイルス感染症から見えてくる偏見や差別について | 3,300 | 180 |
| 20 | 【新規】現場技術者のための安全衛生管理 | 8月19日 8月27日 | 13:00 ～16:00 (3時間) | 技術 | ○ | ○ | ○ | 初級中級 | 安全衛生管理の基本である、労働安全衛生法・規則についての理解を深め、安全な円滑な現場の管理につなげる。 | ・労働安全衛生法・規則の概要と最近の動向 ・現場の安全衛生と法的責任の関係 ・安全衛生法違反による労働災害事例 ・現場の安全衛生管理 (新型コロナ・熱中症対策等を含む) | 3,300 | 160 |
| 21 | 現場の原価管理 | 8月24日 | 10:00 ～16:00 (5時間) | 技術 | ○ | ○ | ○ | 初級中級 | 受注工事の原価管理について、施工計画、工程表、実行予算等の作成演習を通して実践的な知識の習得を図る。 | ・設計書、図面から施工方法の検討 ・施工計画、工程表の作成(演習) ・予算書の作成(演習) ・出来高調書の作成と最終利益予測(演習) | 5,000 | 100 |
| 22 | 斜面災害の発生原因と対策 | 8月25日 | 10:00 ～16:00 (5時間) | 技術 | ○ | ○ | ○ | 中級上級 | 豪雨災害や地震による土砂災害等が発生している中、大規模災害の要因と調査設計の留意点について学び、技術者としての資力の向上を図る。 | ・斜面防災の状況と斜面災害の現状 ・斜面災害の事例とその対応 (切土、盛土、自然斜面、土石流) ・予防保全と点検 | 5,000 | 100 |
| 23 | 道路構造物の維持管理 | 8月31日 | 10:00 ～16:00 (5時間) | 技術 | ○ | ○ | ○ | 中級上級 | 道路構造物(舗装、道路付属物、トンネル)の維持管理のポイントや留意点について専門的な知識と技術を学び、技術力の向上を図る。 | ・構造物の維持管理について 舗装、道路付属物、トンネルについて | 5,000 | 90 |

| 番号 | 研修名 | 開催日 | 時間 | 加 点 研 修 | CPDS 研 修 | 建設コ ンサル CPD | 建築士会 CPD | 対象者 | 目的 | 研修科目及び主な内容 | 受講料 (円) | 計画 人員 (人) |
|----|------------------------|--------|----------------------------|------------------|----------------|-------------------|-------------|----------|--|---|------------|-----------------|
| 24 | 建築工事の品質管理 | 9月7日 | 10:00 ～16:00 (5時間) | 技術 | ○ | ○ | ○ | 中級 上級 | 建築工事に関する品質管理について、品質管理のポイントや留意点等を解説し、技術の向上を図る。 | ・建築工事における品質管理 ・躯体工事の品質管理 ・仕上げ工事の品質管理 ・設備関連工事の品質管理 ・品質管理トピック | 5,000 | 50 |
| 25 | 【新規】建設業におけるICT活用 | 9月調整中 | 10:00 ～16:00 (5時間) | 技術 | ○ | ○ | ○ | 初級 中級 | 最新技術に関する情報や、ICT活用事例の紹介を通じ、ICT活用についての理解を深め、建設現場や会社における生産性向上につなげる。 | ・鳥取県におけるICT活用の取組み ・建設業のデジタル化などIT活用の最新動向 ・ICTを活用した生産性向上 ・3次元設計データの作成と活用 ・建設業における ICT 活用の取組事例 | 5,000 | 100 |
| 26 | 経営管理 I | 9月調整中 | 13:30 ～16:00 (2.5時間) | 経営 | ○ | ○ | | 経営者 | 人手不足や働き方改革へ対応するため、建設産業でもデジタル化やICT活用がすすめられていることから、その最新の動向や対応方法を解説し、建設会社等の生産性向上につなげる。 | ・デジタルトランスフォーメーション(DX)の概要 ・DXの必要性と今後の動向 ・具体的な対応方法について | 4,100 | 200 |
| 27 | 【新規】建設業における働き方改革 | 9月調整中 | 13:00 ～16:00 (3時間) | 技術 | ○ | ○ | ○ | 初級 中級 | 令和元年6月に成立した新・担い手3法を踏まえ、建設現場での生産性向上や働き方改革について、その現状や取組事例について解説しする。 | ・新・担い手3法の概要 ・「建設業働き方改革促進プログラム」について ・建設現場における生産性向上について ・取組事例紹介 | 3,300 | 60 |
| 28 | 技術者のための施工計画 | 9月調整中 | 10:00 ～16:00 (5時間) | 技術 | ○ | ○ | | 初級 中級 | 施工計画に関する基礎的知識を学び、現場に応じた施工計画の立案や適切な施工管理を行うための技術を身につける。 | ・施工計画書と工程管理 ・施工計画の基本と事例 ・施工計画の作成・運用・管理 | 5,000 | 100 |
| 29 | 【新規】コンクリート標準示方書に関する講習会 | 9月調整中 | 10:00 ～16:00 (5時間) | | ○ | ○ | | 中級 上級 | コンクリート標準示方書(維持管理編)について学び、コンクリート構造物の点検や補修・補強の設計に係る専門的な知識を習得ことにより技術力の向上を図る。 | ・示方書(維持管理編)の概要 ・2018年改訂の解説 ・補修・補強時の留意点 ・設計事例等紹介 | 5,000 | 80 |
| 30 | 橋梁点検と補修計画 | 9月調整中 | 10:00 ～16:00 (5時間) | | ○ | ○ | | 中級 上級 | 行政職員及び建設コンサルタント職員を対象に、橋梁点検及び補修計画の策定を行う際の留意点等を解説し、点検・診断に関する技術力向上を図る。 | ・鳥取県橋りょう定期点検マニュアルについて ・劣化・損傷原因究明のための詳細調査 ・点検時の留意点 ・工法選定の考え方と設計事例 ※行政職員、コンサルタント向き | 5,000 | 80 |
| 31 | 基礎から学ぶ土木工事積算 | 9月調整中 | 10:00 ～16:00 (5時間) | | ○ | ○ | | 初級 | 土木工事積算の最近の動向や積算に関する基礎的な内容を学び、工事積算実務について理解を深める。 | ・土木工事積算とは ・積算基準、歩掛の構成、機械燃料等 ・積算演習 | 5,000 | 80 |
| 32 | コンクリート構造物ひび割れ補修 | 10月調整中 | 10:00 ～16:00 (5時間) | 技術 | ○ | ○ | ○ | 中級 上級 | ひび割れの発生原因や補修における対策・留意点等、コンクリート構造物のひび割れ補修に関する専門的な知識と技術を学び、技術力の向上を図る。 | ・ひび割れの診断事例 ・初期ひび割れの抑制対策 ・ひび割れの発生原因とひび割れの補修 ・ひび割れ補修における対策・留意点 | 5,000 | 100 |
| 33 | 【隔年】新技術・新工法 | 10月調整中 | 13:00 ～16:00 (3時間) | 技術 | ○ | ○ | ○ | 初級 中級 | NETIS(新技術情報提供システム)や鳥取県が運用する新技術・新工法活用システムに登録された新技術等を紹介することにより、新技術等の公共工事での活用拡大につなげる。 | ・新技術・新工法活用システムの概要 ・新技術、新工法及び活用事例の紹介 | 3,300 | 100 |
| 34 | 経営管理 II | 10月調整中 | 13:30 ～16:00 (2.5時間) | 経営 | ○ | ○ | | 経営者 | 若手技術者にとって魅力ある会社となり、人材確保・定着をすすめるためには、何をすればよいか、独自の取組みで多くの新卒採用や業績アップに成功している会社社長の講演を通じてそのヒントを得る。 | ・先進的な取り組みを行って成果を挙げている会社の社長 | 4,100 | 100 |
| 35 | 仮設工 | 10月調整中 | 10:00 ～16:00 (5時間) | 技術 | ○ | ○ | ○ | 初級 中級 | 工事の施工に必要となる土留、型枠、支保工、仮締切等の設計・施工について事例を基に学び、仮設構造物の重要性を理解し、工事の安全かつ円滑な施工につなげる。 | ・仮設構造物の概要 ・土留・仮締切の設計 ・施工・失敗事例紹介 | 5,000 | 100 |
| 36 | 受発注者のための品質確保 | 10月調整中 | 10:00 ～16:00 (5時間) | 技術 | ○ | ○ | ○ | 中級 上級 | 共事業を実施する上で必要となる知識や注意事項を受発注者間で共有し、共同で公共事業の品質を確保するために配慮すべき事項を学ぶ。 | ・公共工事の品質確保に関する最近の動向 ・最近の会計検査指摘事項と失敗事例 ・労災事例から学ぶ注意事項 ・成果品の照査等について | 5,000 | 100 |
| 37 | 橋梁維持補修(PC橋) | 10月調整中 | 10:00 ～16:00 (5時間) | 技術 | ○ | ○ | | 中級 上級 | 橋梁の老朽化が急速に進む中、橋梁(PC橋)の維持・補修のポイントや留意点について専門的な知識と技術を学び、維持・補修に関する技術力向上を図る。 | ・橋梁維持補修の現状 ・補修・補強工法の紹介 ・施工上の留意点 ・補修・補強工事事例の紹介 ・新技術 | 5,000 | 60 |
| 38 | 電気・機械設備の品質管理 | 10月調整中 | 10:00 ～16:00 (5時間) | 技術 | ○ | ○ | ○ | 中級 上級 | 電気・機械設備工事に関する品質管理のポイントや留意点等を解説し、技術の向上を図る。 | ・品質管理の計画について ・各設備工事での留意点について ・品質管理上の不適切事例 ・品質管理トピック | 5,000 | 50 |
| 39 | 工事施工中の環境配慮 | 11月調整中 | 10:00 ～16:00 (5時間) | 技術 | ○ | ○ | ○ | 初級 中級 | 環境に関する法令や、環境影響評価、動植物への配慮等について理解を深め、環境に配慮した工事施工につなげる。 | ・環境影響評価に基づく事後調査 ・環境に関する法令と具体的な対応方法 ・動植物への対応方法 | 5,000 | 100 |
| 40 | 建設工事の入札制度 | 11月調整中 | 13:00 ～16:00 (3時間) | 技術 | ○ | | | 全員 | 鳥取県の入札制度(工事)の概要と入札実務に必要な知識を学び、公共工事及び契約の適正化に繋げる。 | 【主に土木系の内容です。】 ・鳥取県の入札契約制度(土木系)について | 3,300 | 150 |
| 41 | 橋梁維持補修(鋼橋) | 11月調整中 | 10:00 ～16:00 (5時間) | 技術 | ○ | ○ | ○ | 中級 上級 | 橋梁の老朽化が急速に進む中、橋梁(鋼橋)の維持・補修のポイントや留意点について専門的な知識と技術を学び、維持・補修に関する技術力向上を図る。 | ・橋梁維持補修の現状 ・一般鋼橋の維持・補修 ・耐候性橋梁の維持・補修 ・新技術の紹介 | 5,000 | 60 |
| 42 | 事例から学ぶ災害対応(地震編) | 11月調整中 | 10:00 ～16:00 (5時間) | 技術 | ○ | ○ | ○ | 初級 中級 | 大阪、北海道地震の被害状況や対応から見えてきた課題と将来予想される大規模災害に向けての備えについて解説し、地震災害に対応できる技術者の育成を目指す。 | ・最近の地震災害 (災害の概要、被害状況) ・発災直後の災害対応 ・将来の大規模災害に向けた備え | 5,000 | 100 |
| 43 | 土質・地質による工法選定 | 11月調整中 | 10:00 ～16:00 (5時間) | 技術 | ○ | ○ | ○ | 中級 上級 | 土質及び地質に関する基礎的な事項を確認するとともに土質・地質・地盤による工法選定方法に係る専門的な知識を学び、技術力の向上を図る。 | ・土質、地質の違い ・各種工事と土質・地質・地盤による工法選定 ・補強土壁工法、すべり面における対策と工法 ・軟弱地盤による道路、河川浚渫工法 | 5,000 | 80 |
| 44 | 河川構造物の維持管理 | 11月調整中 | 10:00 ～16:00 (5時間) | 技術 | ○ | ○ | ○ | 中級 上級 | 豪雨災害の頻発化や施設の老朽化が進んでいる状況に対応するため、堤防や河道等の維持管理について解説を行う。 | ・河川概論 ・河川構造物の維持管理 (堤防、河道等の維持管理) | 5,000 | 60 |
| | | | | 40 | 44 | 42 | 15 | | | | | 4,000 |

※調整中の研修については、開催時期・研修内容が変更になる場合があります。

※受講対象者の目安(経験年数)

新人:5年未満 初級:5~10年 中級:10~20年 上級:20年以上

令和3年度研修計画一覧表(6月9日募集開始分・Web研修)

別紙2

| 研修名 | 開催日 | 時間 | 加 点 研 修 | CPDS 研 修 | 建設 コン サル CPD | 建築 士会 CPD | 対象者 | 目的 | 研修科目及び主な内容 | 受講料 (円) | 講師 |
|---------------------|----------------|----------------------------|------------------|----------------|-----------------------|-----------------|----------|--|--|------------|--|
| 建築工事の安全管理 | 7月13日 | 10:00 ～16:00 (5時間) | 技術 | ○ | ○ | ○ | 初級 中級 | 建築工事における安全対策に関する基本的な知識を修得し、建築現場での労働災害の減少につなげる。 | ・建設業における労働災害発生状況 ・建設業における労働災害防止上の課題 ・労働災害発生時のしくみと発生時の対応 ・労働災害と企業の責任 等 | 5,000 | (株)戸田建設 本社安全管理統括部副統括部長 小澤重雄 |
| 【新規】建築工事の積算演習 | 7月28日 | 13:00 ～16:00 (3時間) | 技術 | ○ | ○ | ○ | 初級 中級 | 建築数量積算基準の解説及び積算演習を通じて、積算実務について理解を深める。 | 建築数量積算基準の解説 計測・計算の演習及び内訳書の作成 内外装、土工、地業、躯体(鉄筋コンクリート造) | 3,300 | (公社)日本建築積算協会 中国四国支部 |
| 人権に関する講習会 | 8月2日 8月4日 | 13:30 ～16:00 (2.5時間) | 人権 | ○ | ○ | | 全員 | 人権尊重のための知識を学び、差別がなく、働きやすい職場づくりにつなげる。 | ・新型コロナウイルス感染症から見えてくる偏見や差別について | 3,300 | (公社)取県人権文化センター 次長兼上席専任研究員 尾崎真理子 |
| 【新規】現場技術者のための安全衛生管理 | 8月19日 8月27日 | 13:00 ～16:00 (3時間) | 技術 | ○ | ○ | ○ | 初級 中級 | 安全衛生管理の基本である、労働安全衛生法・規則についての理解を深め、安全な円滑な現場の管理につなげる。 | ・労働安全衛生法・規則の概要と最近の動向 ・現場の安全衛生と法的責任の関係 ・安全衛生法違反による労働災害事例 ・現場の安全衛生管理 (新型コロナ・熱中症対策等を含む) | 3,300 | (一社)日本労働安全衛生コンサルタント会 広島支部 |
| 斜面災害の発生原因と対策 | 8月25日 | 10:00 ～16:00 (5時間) | 技術 | ○ | ○ | ○ | 中級 上級 | 豪雨災害や地震による土砂災害等が発生している中、大規模災害の素因と調査設計の留意点について学び、技術者としての資質の向上を図る。 | ・斜面防災の状況と斜面災害の現状 ・斜面災害の事例とその対応 (切土、盛土、自然斜面、土石流) ・予防保全と点検 | 5,000 | 西日本高速道路エンジニアリング中国(株) |
| 道路構造物の維持管理 | 8月31日 | 10:00 ～16:00 (5時間) | 技術 | ○ | ○ | | 中級 上級 | 道路構造物(舗装、道路付属物、トンネル)の維持管理のポイントや留意点について専門的な知識と技術を学び、技術力の向上を図る。 | ・構造物の維持管理について 舗装、道路付属物、トンネルについて | 5,000 | 西日本高速道路エンジニアリング中国(株) |
| 建築工事の品質管理 | 9月7日 | 10:00 ～16:00 (5時間) | 技術 | ○ | ○ | ○ | 中級 上級 | 建築工事に関する品質管理について、品質管理のポイントや留意点等を解説し、技術の向上を図る。 | ・建築工事における品質管理 ・躯体工事の品質管理 ・仕上げ工事の品質管理 ・設備関連工事の品質管理 ・品質管理トピック | 5,000 | (株)戸田建設 本社統轄部 エデュケーション推進室長 柳沼俊一 |

受講対象者の目安(経験年数)

新人:5年未満 初級:5～10年 中級:10～20年 上級:20年以上

Web セミナー方式の研修について(会社で受講する場合)

1 受講方法等

- Web セミナーは、「Zoom アプリ」を使用して行います。
- Web セミナー方式では、インターネット環境が必要です。インターネット通信料は御社でご負担ください。受講中は双方向で映像・音声データのやり取りを行い、インターネットを通じて大容量の packets 通信を繰り返すため、パケット定額サービス等の利用をお勧めします。
- カメラ及びマイクが付いたパソコン又はタブレット端末等(10 インチ以上)を一人一台ずつ用意してください。
- Web セミナー受講に必要なアクセス用 URL、ログイン ID、パスワード、Zoom へのアクセスやシステムの使用方法については、研修開催日の6営業日前にメールでお知らせします。
- 研修テキストは上記のメールにリンクを貼り付けますので、ダウンロードして必要な方は印刷してください。
- Web セミナー方式では、Zoom の音声又はチャット機能により、講師と直接質疑等のやり取りが可能です。
- 加算研修の確認テストは、講義終了後にチャットで URL を送信しますので、Web 上で回答してください。

2 受講確認の方法について

- 本人確認のため、顔写真付きの証明書(CPDS 技術者証、免許証等)のコピーを事前にセンターにメールで送ってください。
(CPDS の学習履歴の登録を希望される方は、CPDS 技術者証の写しを送付してください。)
- Zoom の画面上で本人確認を行いますので、カメラ機能は常時 ON にしてください。故意にカメラを OFF にした場合は、研修の修了を認めないこととします。
- 加算研修及び CPDS の申請に必要なため、参加者全員分のスクリーンショットを撮影します。
(開始直後、昼前、昼後、終了前付近のスクリーンショットを撮影します。)

3 CPD(継続学習)の取扱いについて

(1) CPDS(全国土木施工管理技士会連合会)

- 学習履歴は、当センターが代行申請します。(1時間当たり1ユニット)
- 個人 ID からの学習履歴の申請はできません。
- 受講確認のため、事前に CPDS 技術者証のコピーをメールでセンターに送ってください。
- プログラム名に「オンラインセミナー」と記載されているプログラムに履歴を登録します。

(2) 建設コンサルタンツ協会 CPD

- 単位等の取扱いについては、建設コンサルタンツ協会CPD事務局へ直接問い合わせしてください。

(3) 建築士会 CPD

- 学習履歴は当センターが代行申請します。(1時間あたり1単位)
- 受講確認のため、顔写真付の証明書とともに建築士会CPDカードを事前にセンターにメールで送ってください。

4 トラブル発生時の対応について

- Web セミナー中、何らかのトラブルにより講義が受信できない場合は、建設技術センターへ電話連絡してください。電話番号 080-8241-3336(研修ホスト直通)、0858-26-6065(総務研修課 藤井、前田)